

<産婦人科>

GI0 (general instructional objective)

産婦人科領域の腫瘍の治療、周産期医療、生殖医療を網羅的に経験することにより、産婦人科医師として必要な各領域の疾患・病態に対する理解を深め、同時に頻度の高い疾患については、基本的な臨床的管理が行えることを目標とする。

SBOs (specific behavioral objectives)

(1) 基本姿勢

- (ア) 女性生殖器の解剖の特徴、および月経周期の調節機序を理解する。
- (イ) 女性のライフサイクルでの身体の変化に対する理解を深める。
- (ウ) 代表的な婦人科疾患の病態について理解する。
- (エ) 妊娠・分娩・産褥の生理と病態についての理解を深める。

(2) 診察法・検査・手技

- (ア) 婦人科疾患の病態の把握ができる病歴聴取を心がける。
- (イ) 上級医の指導のもとで女性生殖器の視診・触診を行い、疾患が存在する可能性を判別できる。
- (ウ) 各種の画像診断の疾患ごとの所見を理解し、診断を導くことができる。
- (エ) 代表的な婦人科疾患の検査計画を立てることができる。
- (オ) 基本的な手術の術式を理解し、助手を務めることができる。
- (カ) 上級医の指導のもとで、妊産褥婦の外診・内診・経腹超音波検査・胎児心拍モニタリングができる。

(3) 症状・病態への対応

- (ア) 女性生殖器についての理学的所見や検体検査・画像診断の結果を総合して、鑑別診断を上げることができる。
- (イ) 代表的な婦人科疾患の治療計画を立てることができる。
- (ウ) 産科異常や妊娠合併症の治療計画を立てることができる。
- (エ) 分娩の進行の予測ができる。

LS1 (learning strategy 1)                      On the job training

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は10から15人程度とする。
- (2) 各種の婦人科疾患手術や帝王切開術の助手を務める。
- (3) 上級医の指導のもとで、周術期の管理を行う。
- (4) 上級医の指導のもとで週1回程度、妊婦健康診査を行う。
- (5) 上級医の指導のもとで、婦人科外来の見学および問診を行う。

(6) 週 1 回の部長回診で症例提示を行う。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 週 1 回の科内の術前症例検討会・勉強会に出席する。
- (2) 月 1 回の小児科との合同カンファレンス（周産期カンファレンス）に出席する。
- (3) 興味を抱いた疾患・病態について自己学習し、ローテーション期間中に症例発表を行う。
- (4) 上級医の指導のもと、東京産科婦人科学会で症例発表を行う。

週間予定（例）

	午 前	午 後	夜 間
月曜日	婦人科外来	手術、または病棟業務	分娩待機
火曜日	手 術	手術、または病棟業務	周産期カンファ（第 1 週） 分娩待機
水曜日	産科外来	検査外来	症例検討会、病理カンファ 分娩待機
木曜日	手 術	手術、または病棟業務	分娩待機
金曜日	手 術	手術、または病棟業務	分娩待機

EV 評価

EPOC2 による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC2 評価システムに入力をする事